本ニュースリリースは、TIS株式会社とウイングアーク１ｓｔ株式会社、インフォテリア株式会社の３社から配信しております。
重複して受信される場合がございますが、予めご了承ください。

News Release

報道関係者各位

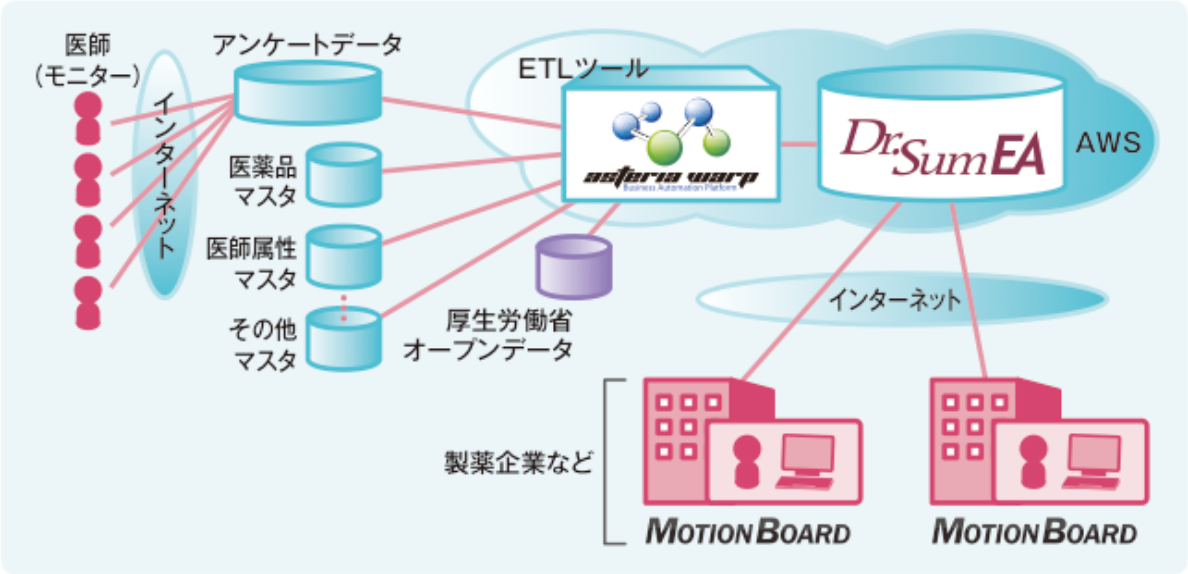
2015 年 11 月 17 日
インフォテリア株式会社
TIS 株式会社
ウイングアーク１ｓｔ株式会社

医療分野専門の市場調査会社アンテリオの データ分析プラットフォームを構築

～　AWS 上に BI と ETL を組合せ、多様化する市場調査ニーズに即応　～

IT ホールディングスグループの TIS 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：桑野　徹、以下 TIS）と、ウイングアーク１ｓｔ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO：内野　弘幸、以下ウイングアーク）、インフォテリア株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：平野洋一郎、以下、インフォテリア）は、医療・ヘルスケア分野における市場調査を手がける株式会社アンテリオ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：仁司　与志矢、以下アンテリオ）の医師向けアンケートのデータ分析プラットフォームを構築したことを発表します。

＜アンテリオのデータ分析プラットフォームのシステム構成＞



■旧システムでの課題

市場調査・マーケティングリサーチなどの情報サービスを展開するインテージグループにおいて医薬品開発支援を担うアンテリオでは、全国の医師へのアンケートの分析データを製薬企業に提供するなどのサービスを展開しています。その調査サービスの一つである「製薬企業の MR（医薬情報担当者）の活動状況調査」の分析プラットフォームでは、システムの自由度・拡張性が低いため以下のような課題を抱えていました。

・アンケート項目追加などに作業時間を要し、タイムリーな調査の妨げとなっていた
・システム内部のブラックボックス化により、データ加工処理など細やかな設定ができない
・エンドユーザー（製薬企業）が分析で使用する Web システムの画面表示のレスポンスが遅い

そこでアンテリオは、自社内での運用ができ、ユーザーが求めるニーズにタイムリーに応える自由度と柔軟性を備えた新しい分析プラットフォームの構築を決定しました。

■ツールおよび導入パートナーの選定

アンテリオは、システムの自由度・拡張性を考慮して新システムのインフラにはアマゾン ウェブ サービス（以下、AWS）を活用し、エンドユーザー（製薬企業）が Web ブラウザベースの BI（ビジネスインテリジェンス）ツールで分析作業を行うという仕組みを構想しました。

多数の候補製品の中から、BI ツールには、直感的に利用できる使いやすさや機能性、サーバー単位の料金体系のコストメリットを評価して、ウイングアークのダッシュボード「MotionBoard」と集計エンジン「Dr.Sum EA」の組合せを選択しました。

システム導入と運用の内製化に向けた導入支援パートナーには、AWS の豊富な構築実績と国内 80 社以上でウイングアークの BI ツールの導入実績がある TIS を選定しました。

また、アンケート結果や医師の属性マスタ、医薬品マスタなどの分析に必要なソースデータのクレンジングを行う AWS 上で稼動させる ETL ツールには、専門知識が必要なくアイコンを並べるだけで簡単に加工のフローを開発できるインフォテリアの「ASTERIA WARP」を採用しました。

■新システムの効果

プロジェクト開始から 2 カ月後の 2014 年 8 月には AWS 上にデータ分析プラットフォームが完成し、社内でのテスト運用を開始。アンテリオ運用担当者のツール研修や TIS による分析スピード改善のためのシステムチューニングなどを経て、2015 年 3 月に「製薬企業の MR（医薬情報担当者）の活動状況調査」の新分析プラットフォームが本番稼動を開始しました。

新システムでは、システム運用を内製化したことで、アンケート項目追加、分析画面の仕様変更、分析用データのクレンジングの追加・変更など、調査要望に応じたタイムリーな対応が可能となり、従来に比べてシステム運用の柔軟性・自由度が飛躍的に向上しました。

また、Web 画面のレスポンスも 1 分以上の待ち時間から数秒～20 秒以内へと短縮され、多種多様なグラフも表示など視覚的な分かりやすさも向上し、エンドユーザーのユーザビリティが大きく改善されました。

アンテリオでは、今後は他のリサーチサービスにも新システムの活用範囲を広げていくことで、多様化する医療分野の市場調査ニーズに対応し、自社サービスの競争力を高めていく予定です。

株式会社アンテリオ　ファーマ・ソリューション事業部　ソリューション開発部長　佐藤 暢章氏は次のように述べています。

「新システム構築の最終目標は自社運用でしたが、この考えに最もマッチしたのがウイングアーク、インフォテリアのツールの活用でした。また、運用の内製化に向けては TIS が IT インフラの整備などの技術的な部分を代行し、各種ツールの初期導入を支援してくれたことで運用を軌道に乗せることができました。また、「MotionBoard」「Dr.Sum EA」「ASTERIA WARP」の使い易さやパフォーマンスにも大変満足しています」

本ニュースリリースは、TIS株式会社とウイングアーク１ｓｔ株式会社、インフォテリア株式会社の3社から配信しております。
重複して受信される場合がございますが、予めご了承ください。

■株式会社アンテリオについて

株式会社アンテリオ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：仁司与志矢）は、調査、企画、分析における高度なスキルと医療分野における豊富な経験・知識をコア・コンピタンスとし、ヘルスケア領域のマーケティングリサーチに精通したトップカンパニー。2015 年 4 月 1 日より、新たにインテージのコンシューマーヘルスケア事業（主にコンシューマーヘルスケア分野のマーケティングリサーチ）が合流し、健康食品から一般用医薬品、医療用医薬品までの幅広いヘルスケア領域視点での価値を提供している。

http://www.anterio.co.jp/

■「Dr.Sum EA」および「MotionBoard」について

「Dr.Sum EA」は、データの集計・分析を行うためのソフトウェアです。各種システムに蓄積されたデータを統合し、集計・分析を一括して行える情報活用基盤を構築できます。

「MotionBoard」は、豊富なチャート表現により、膨大なデータを可視化するダッシュボード製品です。詳細は下記の URL をご参照下さい。http://www.wingarc.com/product/bi/

■「ASTERIA WARP」について

ASTERIA WARP は、異なるコンピューターシステムのデータを、ノンプログラミングで連携できるミドルウェアです。メインフレームやクラウド上のサーバーから表計算ソフトまで、様々なシステム間の接続とデータの変換を行うロジックを複雑なプログラミングなしで行えることが評価されています。また、企業向けデータ連携製品（EAI/ESB 製品）の国内市場において 8 年連続市場シェア No.1※を獲得しています。アンテリオのデータ分析プラットフォームで ASTERIA WARP は AWS 上で稼働し、各種データソースへのアクセスとデータ変換を行っています。
詳細は下記の URL をご参照下さい。http://www.infoteria.com/jp/asteria

※テクノ・システム・リサーチ社「2014 年ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB 市場編」

TIS 株式会社について

IT ホールディングスグループの TIS は、SI・受託開発に加え、データセンターやクラウドなどサービス型の IT ソリューションを多数用意しています。同時に、中国・ASEAN 地域を中心としたグローバルサポート体制も整え、金融、製造、流通・サービス、公共、通信など、さまざまな業界で 3,000 社以上のビジネスパートナーとして、お客さまの事業の成長に貢献しています。詳細は下記の URL をご参照下さい。http://www.tis.co.jp/

ウイングアーク１ｓｔ株式会社

帳票基盤ソリューション「SVF」 をはじめ、集計・分析プラットフォーム「Dr.Sum EA」ならびに情報活用ダッシュボード「MotionBoard」を提供し、企業の価値を高める情報活用の実現をご提案しています。http://www.wingarc.com/

インフォテリア株式会社

1998 年に国内初の XML 専業ソフトウェア会社として設立されたインフォテリア株式会社は、企業内の多種多様なコンピューターやデバイスの間を接続するソフトウェアやサービスを開発・販売しています。主力製品の ASTERIA は、異なるコンピューターシステムのデータをプログラミングなしで連携できるソフトウェアで、大企業、中堅企業を中心に導入社数を着実に伸ばし、2015 年 5 月に 5,000

社を突破しました。また、Handbook は、営業資料や商品カタログ、会議資料などあらゆる電子ファイルをスマートフォンやタブレットで持ち運べるサービスのスタンダードとして、現在 864 件（2015 年 6 月末現在）の企業や公共機関で採用されています。http://www.infoteria.com/jp/

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

【本件に関するお問合せ】

◆報道関係からのお問い合わせ先

TIS 株式会社　コーポレート本部　企画部　広報室　浄土寺/橋田
TEL：03-5337-4232　E-mail：tis_pr@ml.tis.co.jp

ウイングアーク１ｓｔ株式会社　広報担当　山本/高橋
TEL：03-5962-7300　FAX：03-5962-7301　E-mail：pr@wingarc.com

インフォテリア株式会社　マーケティング本部
コミュニケーション部　広報担当　長沼史宏
TEL：03-5718-1297　E-mail：press@infoteria.com

◆本件に関するお問合せ先

TIS 株式会社　IT ソリューションサービス本部
エンタープライズソリューション事業部
エンタープライズソリューション営業部　担当　島田/持田
TEL：03-5337-4345　E-mail：sol@tis.co.jp

ウイングアーク１ｓｔ株式会社 営業本部
TEL：03-5962-7300　FAX：03-5962-7301　E-mail：tsales@wingarc.com

インフォテリア株式会社　マーケティング本部
プロダクトマーケティング部　製品担当　森一弥
TEL：03-5718-1250　E-mail：pm@infoteria.com